

はじめに

このたびはSUNTAC Slipperシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、お客様にSUNTAC Slipperシリーズを安全で正しくお使いいただくためのものです。SUNTAC Slipperシリーズをお使いになる前に、必ずお読みになり取扱い方法や注意事項を充分にご理解いただいた上でご使用ください。

お読みになった後は、SUNTAC Slipperシリーズをお使いになる方がいつでも読むことができる場所に大切に保管してください。

ご使用にあたってのお願い

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書に書かれた使用方法を守らずに起きた故障・事故については補償できませんので、本書を良くお読みの上、必ず保管してください。
- (4) 正常にご使用になり不良が発生した場合は、保証期間内に限り、機器の修理または交換をさせていただきますが、他の設備・機器への損害は補償できません。
- (5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本機器をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。
この取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

本書に記載されているハードウェアもしくはソフトウェアの名称は、各社の商標、もしくは登録商標です。

安全にお使いいただくために

本書に使用している記号について

本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。この表示の内容を無視して誤った取扱いを行った場合に生じ得る危険性を以下の様に表記しています。以下の内容をよく確認した上で、本文をお読みください。

- ⚠ **警告** 使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。
- ⚠ **注意** 使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定されることを示しています。

絵表示の意味

- ⚠ 記号は、注意すべき内容を示しています。
- ⊘ 記号は、してはいけない内容を示しています。
- ❌ 記号は、しなければならない内容を示しています。

本機器は精密機器です。ご使用にあたっては、次の事項をよく読んで正しくお使いください。

⚠ 警告

本機器は一般オフィスや家庭のOA機器、ないしホビー用途の製品として設計されています。幹線通信機器や、業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性ないし安全性が必要とされる機器には、接続しないでください。



万一、異常な臭いがしたり、過熱や煙が出るといった場合は、ただちに使用をやめ、電源を切り、本機器をパソコンから取り外して、お買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。火災、故障の危険があります。



本機器を開けて内部の部品に触れないでください。電圧の高い部分があるため、感電の危険があります。また故障の原因にもなりますが、この場合は保証期間であっても保証できなくなりますので、ご注意ください。



端子部に手や金属で触れたり、針金等の異物を挿入しないでください。故障、感電の危険があります。



注意

使用電圧、使用温度、使用湿度は巻末の仕様一覧に記載されている定格範囲内でご使用ください。定格外の使用条件で使用された場合は、火災、故障の原因となります。



本機器を濡らさないでください。水などの液体がかかった場合は、発熱、感電、故障の原因となります。



内部に異物（金属類や燃えやすい物、ほこり等）が入らないようにしてください。火災、感電、故障の原因となります。



雨、ちり、ほこりの多いところで使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。



風呂場など水が直接かかる場所や高温多湿で結露しやすい場所では使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。



直射日光の強いところや、炎天下の車内等、高温の場所で使用、放置しないでください。発熱、変形、故障の原因となります。



湿気やほこりの多いところ、または高温となるところには保管しないでください。故障の原因となります。



発熱する器具の近くでの使用はさけてください。発熱、変形、故障の原因となります。



静電気や電気強度の強い場所でのご使用 / 保管はさけてください。故障の原因となります。



曲げたり、強い衝撃を与えたり、落したり、投げつけたりしないでください。故障、破損、火災の原因となります。



ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちて故障やけがの原因となります。



コネクタの部分に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。



乳幼児の手の届かないところで使用 / 保管してください。けが、感電、故障の原因となります。



薬品が触れる場所や、薬品のそばでの使用は避けてください。故障、変色あるいは変形の原因となります。また、ケース溶解による異臭、有害な気体が発生することがあります。



目次

はじめに	1
ご使用にあたってのお願い	1
安全にお使いいただく前に	3
目次	4
ご使用になる前に	
<hr/>	
本製品の特徴	6
梱包内容の確認	6
制限事項と注意事項	7
各部の名称と接続方法	8
接続時の注意事項	9
Mac OS Xの設定	
<hr/>	
Mac OS X (10.0)、10.0.4への組み込み	10
CCLファイルのインストール	10
接続の確認	11
インターネットに接続する	13
「ネットワーク」の設定をする	14
「Internet Connect」を起動する	21
Mac OS 9.1、9.2の設定	
<hr/>	
Mac OS 9.1、9.2への組み込み	22
CCLファイルのインストール	22
接続の確認	23
インターネットに接続する	25
WindowsXPの設定	
<hr/>	
WindowsXPへの組み込み	31
USBドライバを組込む	31
インストールの確認	33
WindowsMeの設定	
<hr/>	
WindowsMeへの組み込み	34
USBドライバとモデム設定ファイルを組込む	34
組み込みの確認	36
Windows2000の設定	
<hr/>	
Windows2000への組み込み	37
USBドライバを組込む	37
インストールの確認	40

Windowsの接続

データ通信カードの認識について	41
WindowsXP/Me/2000でのインターネット接続設定時の注意事項	41

付録

トラブル対処法	42
Mac OS Xこれはどこにある？	43
「Library」フォルダってどこにあるの？	43
「Applications」フォルダってどこにあるの？	43
「Modem Scripts」フォルダってどこにあるの？	44
「Internet Connect」ってどこにあるの？	44
仕様一覧	45

ご使用になる前に

本製品の特徴

PC CardをUSB接続可能にする

Slipper Xはデータ通信カード専用のPC Card-USB変換アダプタです。データ通信カードをSlipperに差し込んでパソコンとの接続をUSBに変換します。

ノートパソコンでしか使用できなかったデータ通信カードがUSBポートを持つデスクトップのパソコンでもご利用いただけるようになります。

電源はUSBからの供給のためACアダプタ等はありません。

CDC (Communication Device Class) ドライバ対応

Windows Me/XP/2000とMac OS X/9.2/9.1で標準サポートのCDCドライバに対応。

DOS/V機とMacintoshでUSBポートを持ち、対応OSで動作するパソコンで動作可能です。

CDCをサポートしていないWindows98/95、WindowsNTやバージョンの古いMacOSでは動作いたしません。

対応カード

対応するPCカードはデータ通信カードのみです。動作確認済PCカードはパッケージに記載されています。

梱包内容の確認

お買い求めいただきましたSUNTAC Slipper X には以下のものが梱包されています。箱から取り出してすべて揃っているか確認してください。

Slipper X 本体

USBケーブル (1m)

ユーザズマニュアル (保証書)

添付ソフトウェアCD-ROM

⚠ 注意

本機器は必ずパソコン本体のUSBポートに接続してご使用ください。
USBハブのUSBポートに接続した場合は動作しないことがあります。

デ - タ通信カ - ド以外のメモリ - カ - ド、LANカード等は動作しません。故障の原因になりますので本機器には絶対に差しこまないでください

消費電流が200mA以上のPCカ - ド又は消費電力1000mW以上のPCカードには対応しておりません。消費電流が200mA以上のPCカ - ド又は消費電力1000mW以上のPCカードは差しこまないでください。故障の原因になります。500mAの電源供給可能なUSBポ - トのみで使用できます。

USBハブでの動作は保証いたしません。

デ - タ通信カ - ドの一部機能、コマンドについては動作しない場合があります。

デ - タ通信カ - ドでも一部のカ - ドでは動作できません。

USBに変換することによりタイミング等が変わりFAX通信はご利用できない場合があります。

パソコンをスリ - プモ - ドにした後スリ - プモ - ドから復帰した場合正しく動作しないことがあります。その場合は、再度USBケ - ブルの抜き差しをおこなってください。

接続したパソコンのバッテリー - の消耗を防止するために機器を使用しないときはパソコンから取り外しておいてください

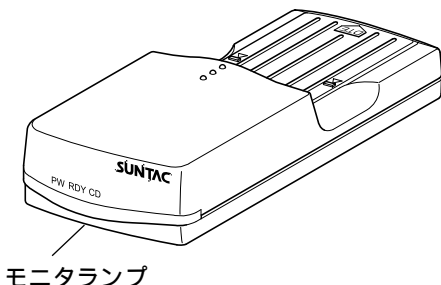
USB対応のサン電子製品（モデム・TA等）を同時に2台以上接続して動作させないでください。正しく動作しない場合があります。

Slipper U に電源が入っている間でもPCカードの抜き差しは可能ですが通信中にカードを抜くとPCカードの故障の原因となりますのでおやめください。

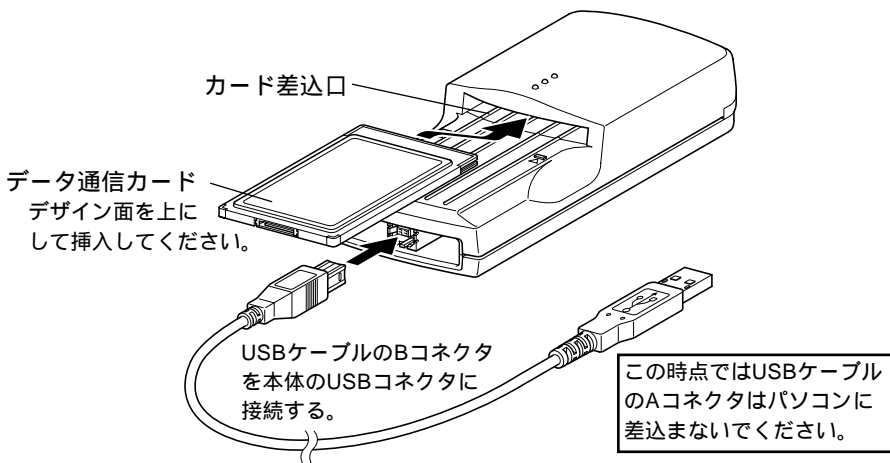
パッケージに記載のある動作確認済PCカード以外のカードを差し込まないでください。故障の原因になります。

PCカードを挿入した際、RDYのモニタランプが点滅した場合は直ちにPCカードを機器より抜いてください。故障の原因となります。

モニタランプ名称と機能



PW	本体に電源が入ると点灯します。
RDY	点灯：カードが認識されると点灯します。 点滅：カードが正しく認識されないと点滅します。
CD	カードが通信中に点灯します。



- 1 データ通信カードをデザイン面を上にして機器のカード差込口に奥まで差込みます。
データ通信カードを取り外す時はデータ通信カードを持って、引き抜いて取り外してください。データ通信カードに接続するケーブル等を持って引抜くとデータ通信カード又はケーブルが破損します。
- 2 USBケーブルのBコネクタを機器のUSBコネクタに差込みます。
この時USBケーブルのAコネクタはパソコンに差込まないでください。

警告

端子部に手や金属で触れたり、針金等の異物を挿入したりしないでください。故障、感電の危険があります。



接続時の注意事項

 **注意**

本機器は必ずパソコン本体のUSBポートに接続してご使用ください。
USBハブのUSBポートに接続した場合は動作しないことがあります。

Mac OS Xの設定

Mac OS X(10.0)、10.0.4 への組み込み

本製品を、ご使用のMacintoshで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行う必要があります。マニュアルに従い本製品とMacintoshの接続を行いますので、この時点では本製品とMacintoshを接続しないでください。

お使いのMacintoshのOSが、Mac OS X(10.0～10.1)であること。
接続の確認

CCLファイルのインストール

リモートアクセス等を利用するためには、ご使用になるデータ通信カードに付属しているCCLファイルをインストールする必要があります。

どこにあるかわからない場合は、本マニュアルの付録の「Mac OS Xこれはどこにあるの？」を参照してください。

(P.43)

- 1 ご使用のMacintoshの「システムフォルダ」の「機能拡張」の「modem Scripts」の中に、ご使用になるデータ通信カード付属のCCLファイルをドラッグコピーします。



本製品は、OSに標準で入っているUSBドライバを使用しますのでUSBドライバをインストールする必要はありません。

以上で、CCLファイルのインストールは完了です。

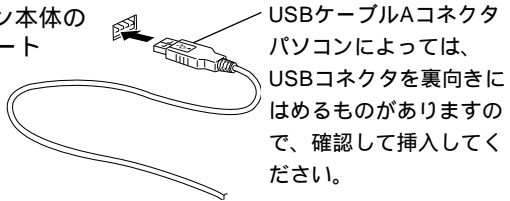
データ通信カードにCCLファイルが付属していない場合は本製品付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」内にあるCCLファイル「SUNTAC Slipper」をご使用ください。上記と同様にインストールしてお使いください。

接続の確認

Slipperを接続して正常に動作するか確認します。

- 1 Slipperに接続したUSBケーブルをパソコン本体のUSBポートに接続してください。MacintoshのキーボードについているUSBポートやUSBハブのUSBポートでは使用できませんので必ずMacintosh本体のUSBポートに接続してください。

パソコン本体の
USBポート



どこにあるかわからない場合は、本マニュアルの付録の「Mac OS X これはどこにあるの？」を参照してください。
(P.43)

- 2 「Applications」フォルダの「Utilities」フォルダの「Apple System Profiler」をダブルクリックし、「装置とボリューム」タブをクリックします。



Apple System Profiler



上記の画面が表示されたら、「Sun Corporation SCC div.」と書かれた部分の左にある三角マークをクリックします。
(詳細情報を見ることができます。)

- 3 画面に以下のように表示されていれば接続は正しく行われています。
(お使いの機種や接続されている周辺機器により、装置の構成等は異なる場合があります。)
(Mac OSのバージョンにより、表示のされ方が多少異なる場合があります。)

Sun Corporation SCC div.
プロダクトID : * * (\$ *) : SUNTAC Slipper X
...
製造番号 : Slipper

プロダクトIDと製造番号が上記のように表示されているものがない場合は、「Apple System Profiler」を終了し、MacintoshとSlipperとの接続を確認してもう一度「Apple System Profiler」を起動してみてください。



インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入り口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申し込み契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続するためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
（「.」で4つに区切られた、それぞれが3桁以内の数字。例：xxx.xxx.xxx.xxx）
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名。ここでは「アカウント名」とも表現されています。）
- 5 パスワード

「ネットワーク」の設定をする

Mac OS Xでは、色々な設定は基本的に「システム環境設定」で行います。

- 1 「Appleメニュー」の「システム環境設定...」をクリックします。



- 2 「システム環境設定」画面が開きますので、「ネットワーク」アイコンをクリックします。



3 ネットワーク」では以下の項目を設定します。

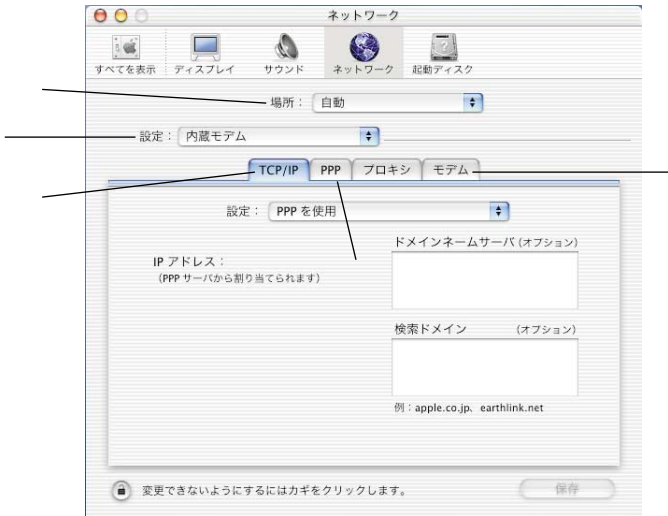
「場所：」の設定（「新しい場所」を作る）

「設定：」から「USB モデムSlipper X」を選択する

「TCP/IP」の設定（ドメインネームサーバーを設定する）

「モデム」の設定（CCLファイル「SUNTAC インストールしたCCLファイル」を選ぶ）

「PPP」の設定（接続先の情報を入力する）



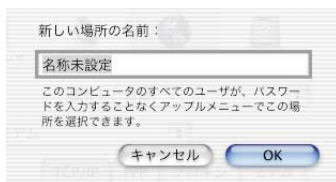
（「ネットワーク」の初期画面）

「場所」の設定（「新しい場所」を作る）

- 1 「場所：」メニューから「新しい場所...」を選択し、クリックします。



- 2 「新しい場所の名前」のダイアログ（画面）で、接続先プロバイダ等の名前を入力し、(OK) ボタンをクリックします。
入力する名前は、わかりやすい名前にしておくとい良いでしょう。



「新しい場所」で入力した名前は、「場所」メニューの「場所の編集」で、後から名前を変えることもできます。

「設定」から「USB モデムSlipper X」を選択する

- 1 「設定：」メニューから「USB モデムSlipper X」を選択し、クリックします。



「設定」メニューに「USB モデムSlipper X」が表示されない場合は、「システム環境設定」をいったん終了します。

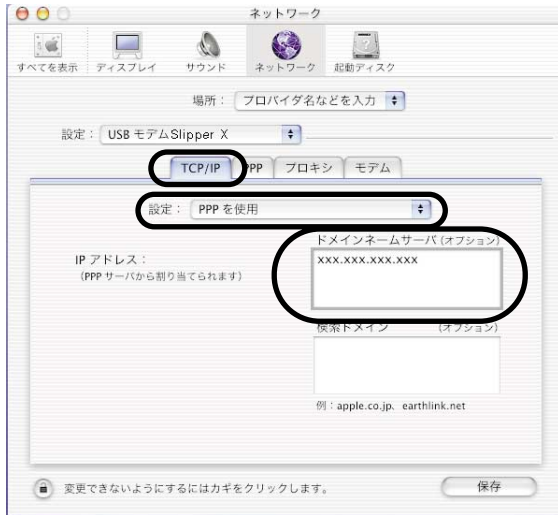
「設定の変更点を保存しますか？」のメッセージには (保存する) ボタンをクリックします。

Macintoshと本製品の接続を確認してから、再度「システム環境設定」を起動します。

もう一度「設定：」メニューを開き、「USB モデムSlipper X」を選択します。

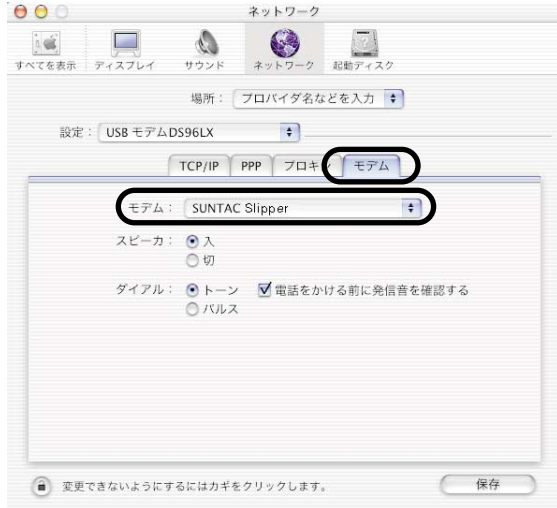
「TCP/IP」の設定（ドメインネームサーバーを設定する）

- 1 「TCP/IP」タブをクリックします。
「TCP/IP」タブ内の「設定：」メニューは、「PPPを使用」を選択し、クリックします。
「ドメインネームサーバー（オプション）」の入力欄に、DNSを入力します。



「モデム」の設定（CCLファイルを選ぶ）

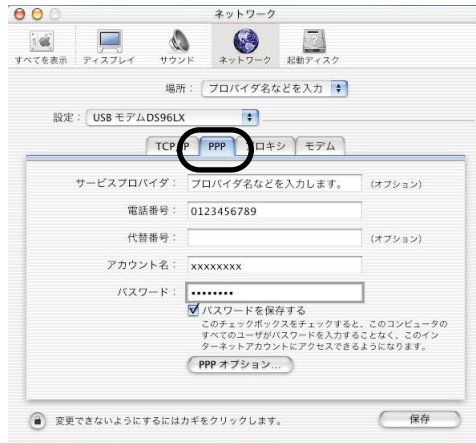
- 1 「モデム」タブをクリックします。
「モデム」タブ内の「モデム：」メニューをクリックし、一覧の中から「インストールしたCCLファイル」を選択し、クリックします。



「ダイヤル：」は、「トーン」を選択しておきます。
(携帯電話の回線を利用して通信する場合、「トーン」となります。)

「PPP」の設定（接続先の情報を入力する）

1 「PPP」タブをクリックします。



サービスプロバイダ：「場所」と同様に、接続先プロバイダ名などを入力します。

電話番号：接続先プロバイダの接続したいアクセスポイントの電話番号を入力します。

電話番号はすべて半角英数字で、市外局番から「-（ハイフン）」を入れずに続けて入力します。使用するカードによって電話番号の後に「##4」「#64」などの通信方式を指定するものがあります。使用するカードのマニュアルを参照してください。

代替番号：通常は入力する必要はありません。

アカウント名：プロバイダに接続する際の、接続アカウントを入力します。

すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。

パスワード：プロバイダに接続する際の、パスワードを入力します。

すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。

「パスワードを保存する」のチェックボックスは、パスワードを入力すると自動的にチェックされます。



「パスワードを保存する」のチェックボックスにチェックがしてある場合、一度設定が完了すれば次回からはパスワードを入力しなくても、プロバイダに接続することができるようになります。チェックをしない場合は、接続時に毎回パスワードを入力する必要がありますので、パスワードを知らない人があなたのアカウント名でこのコンピュータからプロバイダに接続することを防止できます。必要に応じてチェックをするか、しないかを決めましょう。

- 2 (PPPオプション ..) ボタンをクリックすると、次のようなダイアログ (画面) が開きます。プロバイダから「PPPオプション」の設定を変更するよう指示がない場合は、変更の必要はありません。

設定を変更しなかった場合は (キャンセル) ボタンを、設定を変更し、反映したい場合は (OK) ボタンをクリックします。

今は、何も変更していませんので (キャンセル) ボタンをクリックします。

- 3 以上で「ネットワーク」の設定が完了しました。 (保存) ボタンをクリックすると、設定が保存されます。

「Internet Connect」を起動する

どこにあるかわからない場合は、本マニュアルの付録の「Mac OS X これはどこにあるの？」を参照してください。

(P.43)

- 1 「Applications」の「Internet Connect」をダブルクリックします。



Internet Connect

- 2 「設定：」メニューをクリックし、その中から先ほど設定が完了した「USB モデムSlipper X」を選択し、クリックします。



これで、プロバイダに接続するための設定は完了しました。すべての情報が正しく設定されていれば、次回からは、「Internet Connect」を起動してこの設定で（接続）ボタンをクリックするとプロバイダに接続できます。



接続がうまくいかない場合は、「Internet Connect」をいったん終了し、SlipperをMacintoshのUSBポートに差し直してください。

再度「Internet Connect」を起動し、（接続）ボタンをクリックしてください。

上記の方法を試しても接続がうまくいかない場合は、Macintoshを再起動してください。

Mac OS 9.1、9.2の設定

Mac OS 9.1、9.2への組み込み

本製品を、ご使用のMacintoshで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行う必要があります。マニュアルに従い本製品とMacintoshの接続を行いますので、この時点では本製品とMacintoshを接続しないでください。

お使いのMacintoshのOSが、Mac OS 9.1、9.2であること。

CCLファイルのインストール

接続の確認

CCLファイルのインストール

リモートアクセス等を利用するためには、ご使用になるデータ通信カードに付属しているCCLファイルをインストールする必要があります。

- 1 ご使用のMacintoshの「システムフォルダ」の「機能拡張」の「modem Scripts」の中に、ご使用になるデータ通信カード付属のCCLファイルをドラッグコピーします。



本製品は、OSに標準で入っているUSBドライバを使用しますのでUSBドライバをインストールする必要はありません。

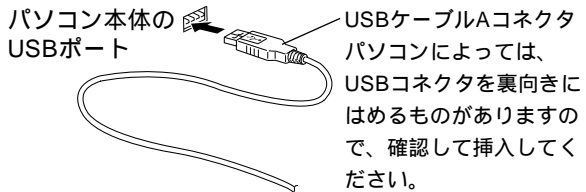
以上で、CCLファイルのインストールは完了です。

データ通信カードにCCLファイルが付属していない場合は本製品付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」内にあるCCLファイル「SUNTAC Slipper」をご使用ください。上記と同様にインストールしてお使いください。

接続の確認

Slipperを接続して正常に動作するか確認します。

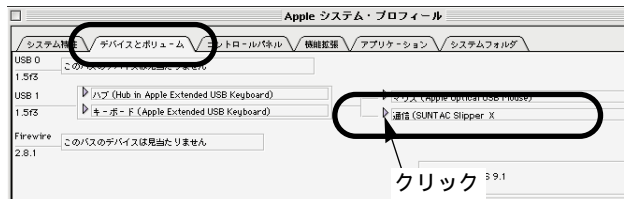
- 1 Slipperに接続したUSBケーブルをパソコン本体のUSBポートに接続してください。MacintoshのキーボードについているUSBポートやUSBハブのUSBポートでは使用できませんので必ずMacintosh本体のUSBポートに接続してください。



- 2 「アップルメニュー」の「Apple システム・プロフィール」を選択します。



- 3 「Apple システム・プロフィール」の「デバイスとボリューム」タブをクリックします。



上記の画面が表示されたら、「通信 (SUNTAC Slipper X)」と書かれた部分の左にある三角マークをクリックします。(詳細情報を見ることができます。)

- 4 画面に以下のように表示されていれば接続は正しく行われています。
(お使いの機種や接続されている周辺機器により、装置の構成等は異なる場合があります。)
(Mac OSのバージョンにより、表示のされ方が多少異なる場合があります。)

通信 (SUNTAC Slipper X)
プロダクトID : 11 (\$b)
製造元 : Sun Corporation (Sun Corporation SCC div.)
ドライバ名 : USB Communication Extension
製造番号 : Slipper

プロダクトIDと製造元、製造番号が上記のように表示されているものがない場合は、「Appleシステム・プロフィール」を終了し、MacintoshとSlipperとの接続を確認してもう一度「Appleシステム・プロフィール」を起動してみてください。



インターネットに接続する

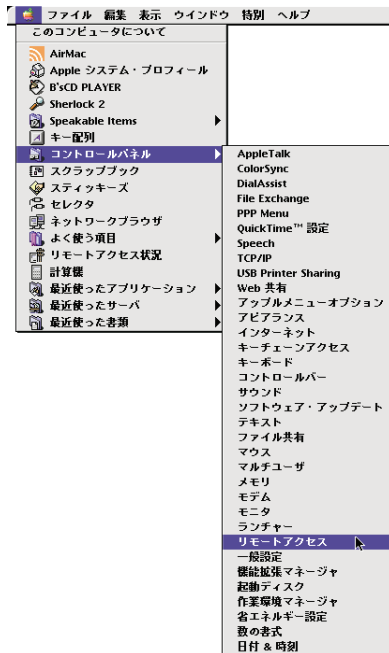
インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入り口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申し込み契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続するためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス。
（「.」で4つに区切られた、それぞれが3桁以内の数字。例：xxx.xxx.xxx.xxx）
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名。ここでは「名前」とも表現されています。）
- 5 パスワード

TCP/IPの設定

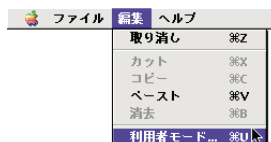
- 1 「アップルメニュー」の「コントロールパネル」の「リモートアクセス」を選択し、起動します。



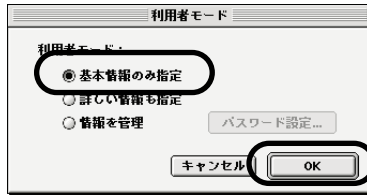
- 2 「リモートアクセス」メニューの「TCP/IP」を選択します。



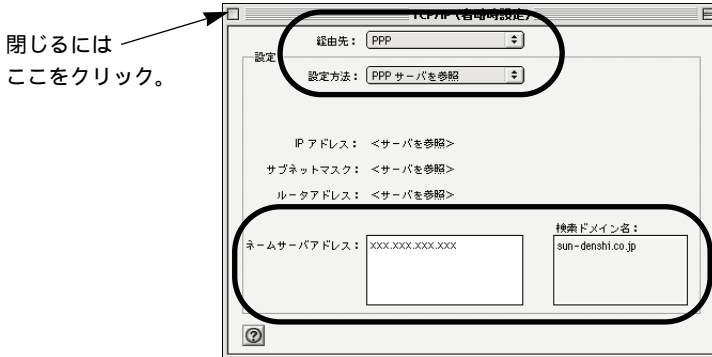
- 3 「TCP/IP」が起動したら、「編集」メニューから「利用者モード」を選択します。



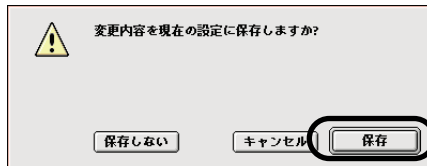
- 4 「基本情報のみ指定」を選択して「OK」をクリックします。「利用者モード」が閉じます。



- 5 続いて、「TCP/IP」の設定をします。「経路先」メニューから「PPP」を選択し、「設定方法」メニューから「PPPサーバを参照」を選択します。「ネームサーバアドレス」、「検索ドメイン名」を入力します。



- 6 上図の矢印の箇所をクリックすると、「変更内容を現在の設定に保存しますか?」という下記の画面が開きますので「保存」ボタンをクリックします。「TCP/IP」が閉じます。



モデムの設定

- 1 「リモートアクセス」のダイアログ（画面）を選択した状態にし、「TCP/IP」の設定と同様に「リモートアクセス」メニューの「モデム」を選択します。
「モデム」の設定は、必ず本製品だけをUSBポートに接続した状態で行うようにしてください。



本製品以外のCDC対応のUSB通信機器（モデム、通信ケーブル、TAなど）を同時に2種類以上接続した場合、いずれも「USB Modem * * *」（*は数字）と表示されてしまいます。本製品を使用する場合は、他のUSB通信機器を同時に接続しないようにしてください。



SlipperをMacintoshに接続していない状態で「モデム」を選択しても、「経路先」に本製品に該当する「USB Modem * * *」（*は数字）が表示されません。



- 2 「経路先」メニューから、本製品に該当する「USB Modem * * *」（*は数字）を選択し、「モデム」メニューから、「インストールしたCCLファイル」を選択します。「ダイアル」は「トーン」を選択し、「ダイアルトーンを無視」のチェック欄のチェックを外してください。

閉じるには
ここをクリック。



上図の矢印の箇所をクリックすると「変更内容を現在の設定に保存しますか？」という画面が開きますので「保存」ボタンをクリックします。「モデム」が閉じます。

リモートアクセスの設定

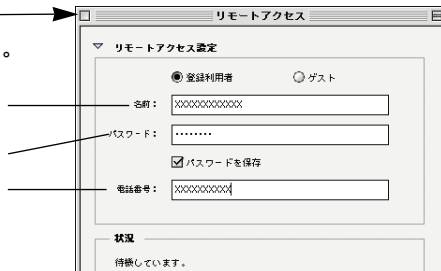
- 1 「リモートアクセス」のダイアログ（画面）を選択した状態にし、「名前」、「パスワード」、「電話番号」を入力します。

名前 : プロバイダに接続する際の、接続アカウント（ユーザーID やアクセスID）を入力します。すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。

パスワード : プロバイダに接続する際の、パスワードを入力します。すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。

電話番号 : 接続先プロバイダの接続したいアクセスポイントの電話番号を入力します。電話番号はすべて半角英数字で、市外局番から「-（ハイフン）」を入れずに続けて入力します。使用するカードによって電話番号の後に「##4」「#64」などの通信方式を指定するものがあります。使用するカードのマニュアルを参照してください。

閉じるには
ここをクリック。



「パスワードを保存」のチェックボックスにチェックがしてある場合、一度設定が完了すれば次回からはパスワードを入力しなくても、プロバイダに接続することができます。

チェックをしない場合は、接続時に毎回パスワードを入力する必要がありますので、パスワードを知らない人があなたのアカウント名でこのコンピュータからプロバイダに接続することを防止できます。

- 2 入力が完了したら、「リモートアクセス」をいったん閉じます。
矢印の箇所をクリックすると（前頁参照）「変更内容を現在の設定に保存しますか？」という画面が開きますので「保存」ボタンをクリックします。「リモートアクセス」が閉じます。
これで、プロバイダに接続するための設定は完了しました。

すべての情報が正しく設定されていれば、次回からは、「リモートアクセス」を起動して、この設定で「接続」ボタンをクリックするとプロバイダに接続できます。



接続がうまくいかない場合は、「リモートアクセス」をいったん終了し、SlipperをMacintoshのUSBポートに差し直してください。再度「リモートアクセス」を起動し、「接続」ボタンをクリックしてください。

上記の方法を試しても接続がうまくいかない場合は、Macintoshを再起動してください。

WindowsXPの設定

WindowsXPへの組み込み

機器をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行なう必要があります。マニュアルに従い機器とパソコンの接続を行ないますので、この時点で機器とパソコンを接続しないでください。

パソコンのOSがWindowsXPであること。

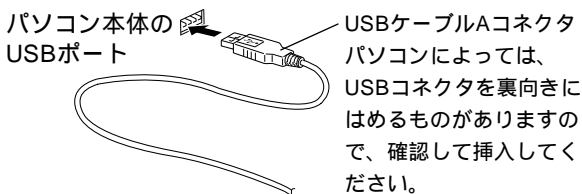
USBドライバを組み込む

接続の確認

USBドライバを組み込む

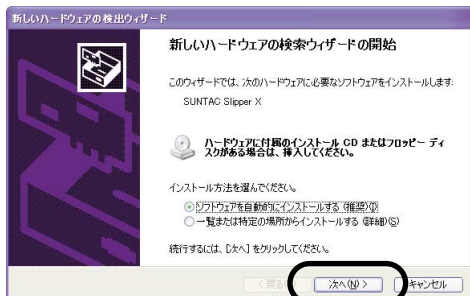
付属のCD-ROMを使ってUSBドライバとモデム設定ファイルをパソコンに組み込み、Slipperを認識させる必要があります。

- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 Slipperに接続したUSBケーブルを下図を参照してパソコン本体のUSBポートに接続してください。USBハブのUSBポートへの接続では動作しない場合がありますので必ずパソコン本体のUSBポートに接続してください。

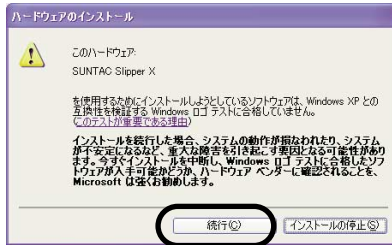


接続を行うと自動的にUSBドライバのインストールが開始されます。

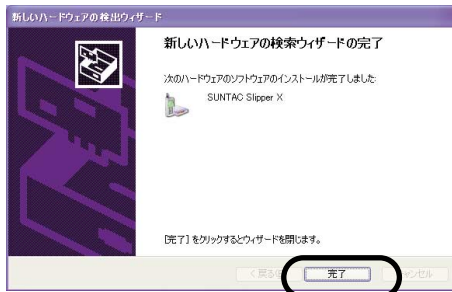
- 3 「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されます。「ソフトウェアを自動的にインストールする」にチェックして「次へ」をクリックします。



- 4 ハードウェアのインストールの画面が表示されます。内容を確認して「続行」をクリックしてください。



- 5 インストールされたデバイスが「SUNTAC Slipper X」であることを確認して「完了」をクリックします。



以上でWindowsXPへのインストールは完了です。

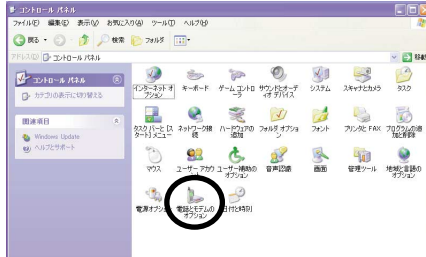
インストールの確認

接続したSlipper Xが正常にインストールされたかどうかを確認します。

- 1 「スタート」メニューの中の「マイコンピュータ」から「コントロールパネル」をクリックしてください。



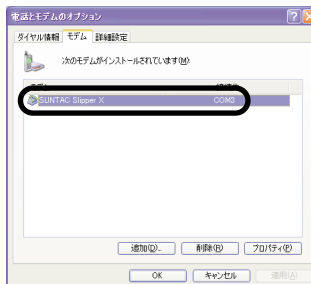
- 2 コントロ - ルパネル内の「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。



- 3 電話とモデムのオプションのダイアログが開いたら「モデム」タブをクリックします。

モデムに「SUNTAC Slipper X」が確認でき、接続先にCOM番号が割り振られていればインストールは正しく行なわれています。

表示されない場合は再度インストールを行なってください。



WindowsMeの設定

WindowsMeへの組み込み

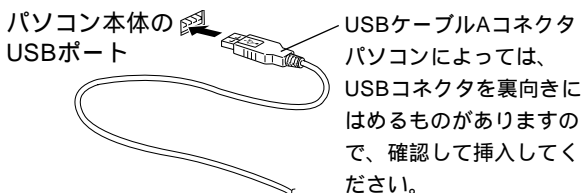
機器をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行う必要があります。マニュアルに従い機器とパソコンの接続を行いますので、この時点では機器とパソコンを接続しないでください。

- パソコンのOSがWindowsMeである事
- USBドライバとモデム設定ファイルを組込む
- 接続の確認

USBドライバとモデム設定ファイルを組込む

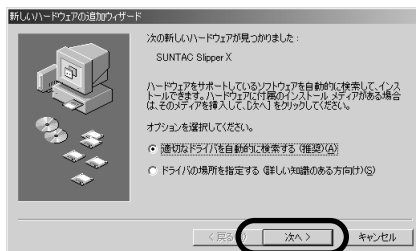
付属のCD-ROMを使って、USBドライバとモデム設定ファイルをパソコンに組込み、Slipperを認識させる必要があります。

- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 Slipperに接続したUSBケーブルを下図を参照してパソコン本体のUSBポートに接続してください。USBハブのUSBポートへの接続では動作しない場合がありますので必ずパソコン本体のUSBポートに接続してください。

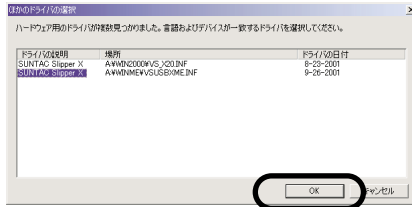


接続を行うと自動的にUSBドライバのインストールが開始されます。

- 3 「新しいハードウェア」画面が表示された後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



- 4 「ほかのドライバの選択」の画面が表示されます。VSUSBXME.INFのファイルが指定されている「SUNTAC Slipper X」を選択し、「OK」をクリックしてください。



- 5 「完了」をクリックしてください。



- 6 引き続きモデム設定ファイルのインストールが行われます。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



- 7 インストールされたデバイスが「SUNTAC Slipper X」であることを確認し「完了」をクリックします。



以上でWindowsMeへのインストールは完了です。

接続したSlipperが正常にインストールされたかどうかを確認します。

- 1 「スタート」メニューの中の「設定」から「コントロールパネル」をクリックしてください。
- 2 コントロールパネル内の「モデム」アイコンをダブルクリックしてください。



- 3 「モデムのプロパティ」の「検出結果」タブをクリックしてください。



SUNTAC Slipper XがCOM*（*はパソコンによって異なります）に割り当てられていればインストールは正常に完了しています。

Windows2000の設定

Windows2000への組み込み

機器をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行なう必要があります。マニュアルに従い機器とパソコンの接続を行ないますので、この時点では機器とパソコンを接続しないでください。

パソコンのOSがWindows2000であること。

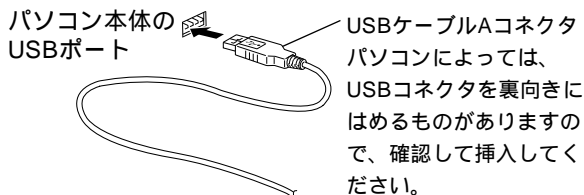
USBドライバを組み込む

接続の確認

USBドライバを組み込む

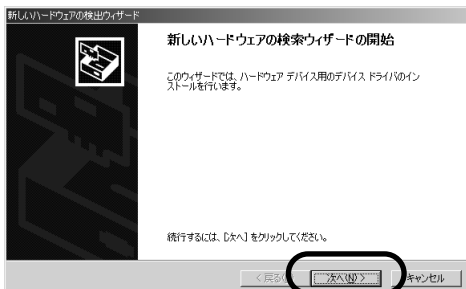
付属のCD-ROMを使ってUSBドライバとモデム設定ファイルをパソコンに組み込み、Slipperを認識させる必要があります。

- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 Slipperに接続したUSBケーブルを下図を参照してパソコン本体のUSBポートに接続してください。USBハブのUSBポートへの接続では動作しない場合がありますので必ずパソコン本体のUSBポートに接続してください。

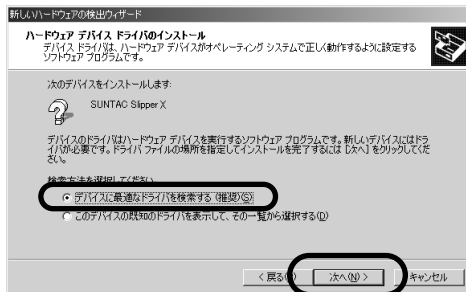


接続を行うと自動的にUSBドライバのインストールが開始されます。

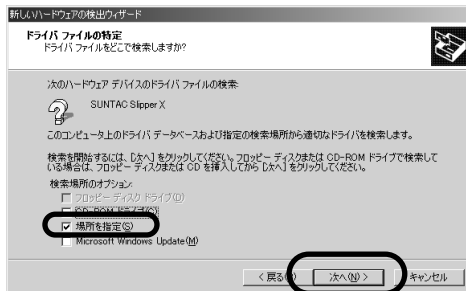
- 3 「新しいハードウェアが見つかりました」の画面が表示された後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されます。「次へ」をクリックします。



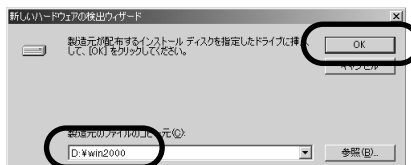
- 4 検索方法の選択で「デバイスに最適なドライバを検索する」にチェックして「次へ」をクリックしてください。



- 5 検索場所のオプションから「場所を指定」のみチェックして「次へ」をクリックしてください。

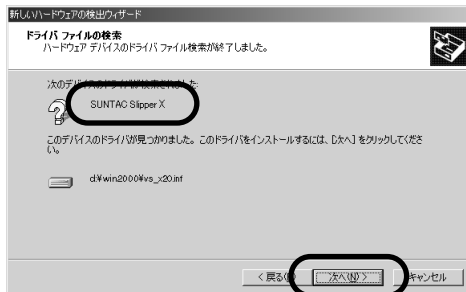


- 6 付属のCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されていることを確認して「製造元のファイルのコピー - 元」の欄に「D:¥win2000」（ここではパソコンのCD-ROMドライブ番号がDとしています。ドライブ番号が異なる場合はDの部分をお客様の使用されているパソコンのCD-ROMドライブ番号に変更してください。）と入力して「OK」をクリックします。

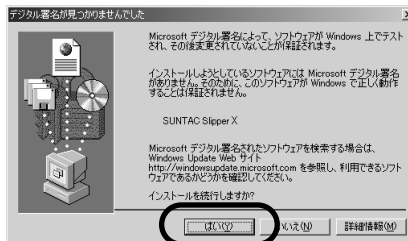


（画面はCD-ROMがDドライブの例です）

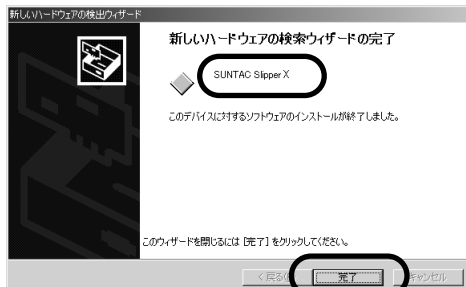
- 7 検出されたデバイスが「SUNTAC Slipper X」であることを確認して「次へ」をクリックします。



- 8 デジタル署名の画面が表示されます。内容を確認して「はい」をクリックしてください。



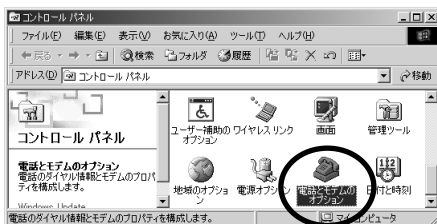
- 9 インストールされたデバイスが「SUNTAC Slipper X」であることを確認して「完了」をクリックします。



以上でWindows2000へのインストールは完了です。

接続したSlipper Xが正常にインストールされたかどうかを確認します。

- 1 「スタート」メニューの中の「設定」から「コントロールパネル」をクリックしてください。
- 2 コントロ - ルパネル内の「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。



- 3 電話とモデムのオプションのダイアログが開いたら「モデム」タブをクリックします。

モデムに「SUNTAC Slipper X」が確認でき、接続先にCOM番号が割り振られていればインストールは正しく行なわれています。

表示されない場合は再度インストールを行なってください。



Windowsの接続設定

デ - タ通信カ - ドの認識について

Slipperに差しこまれたデ - タ通信カ - ドはパソコンには認識されません。
使用するデ - タ通信カ - ドにかかわらずパソコンにはSlipperがモデムとして認識
されます。

カ - ドが使用可能な状態かどうかはSlipperのRDY LEDで確認できます。

WindowsXP/Me/2000でのインタ - ネット接続設定時の注意事項

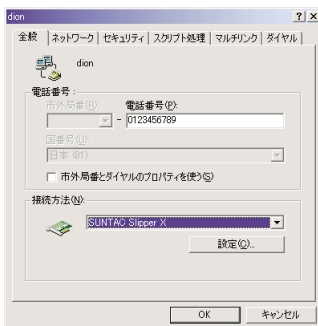
インタ - ネットへの接続の設定方法についてはご使用になるデ - タ通信カ - ドの
マニュアルをご覧ください。

ただしダイヤルアップを設定する際には「モデムの選択」又は「接続方法」で本
機器「SUNTAC Slipper X」を選択してください。

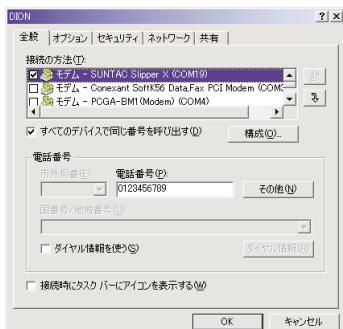
WindowsXpの場合



WindowsMeの場合



Windows2000の場合



その他の設定方法についてはご使用になるデ - タ通信カ - ドと同様の設定が必要
です。

その他の設定方法についてはご使用になるデ - タ通信カ - ドのマニュアルをご覧
ください。

トラブル対処法

通信できない、あるいは機器が正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、故障と考える前に、症状に応じて以下の点を確認してください。

Windowsでインストールできない場合

「不明なデバイス...」として認識されず、インストールができない場合は、機器のUSBコネクタをパソコンのUSBポートから抜いた状態で、パソコンを再起動し、デスクトップ画面が表示されてからUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込んでください。

インストール中「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした。」と表示された場合は、検索場所の指定が正しく指定されているか確認してください。

カードがSlipperに認識されない場合

カードが奥まで正しく差し込まれているか確認してください

データ通信カード以外のPCカードは使用できません。

又データ通信カードでも動作確認済みのPCカード以外では正しく動作しない場合があります。

Slipperに差し込まれているカードの種類に関係なくパソコンにはSlipperが認識されます。カードが正しく認識されているかどうかはSlipperのRDYのLEDで確認してください。

パソコンがSlipperを確認できない又は通信ポートが開けない場合

機器とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

パソコンにはSlipperに差し込まれているデータは認識されません。モデムや経由先の一覧にカード名は表示されません。モデムや経由先の一覧にSlipperの表示があれば正しく動作しています。

Windowsのダイヤルアップでご利用される場合には、プロパティの「接続方法」で表示される機器名が「SUNTAC Slipper X」に設定されているか確認してください。

Macintoshのリモートアクセスでご利用される場合には、モデムの設定で「経由先」がMac OS Xの場合は「USBモデムSlipper X」、Mac OS 9の場合は「USB Modem * * *」(* * *はSlipperが該当するもの)に設定されていることを確認してください。

COMを直接指定するアプリケーションは動作しない場合があります。

USB対応のサン電子製品(モデム、TA含む)を他に接続している場合は、正しく動作しないことがあります。それらの機器を外してお使いください。

パソコンがスリープモードから復帰時本機器を認識しない。

パソコンのスリープモードは使用しないでください。

Mac OS X これはどこにあるの？

- 「Library」フォルダってどこにあるの？
- 「Applications」フォルダってどこにあるの？
- 「Modem Scripts」フォルダってどこにあるの？
- 「Internet Connect」ってどこにあるの？

すべてはここから



Mac OS X(10.0～10.1)を起動すると、画面の一番右上に左図のようなハードディスクのアイコンが表示されます。(Mac OS Xの起動ディスクです。)

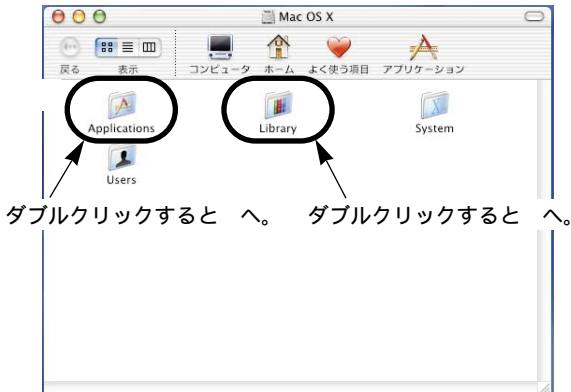
(左の例は、Mac OS Xをクリーンインストールしたときの標準のもので、「Mac OS X」という名前になっていますが、名前を変更することが出来ますので、例とは異なる場合があります。)

このアイコンをダブルクリックし、Mac OS Xの起動ディスクを開きます。

「Library」フォルダってどこにあるの？

「Applications」フォルダってどこにあるの？

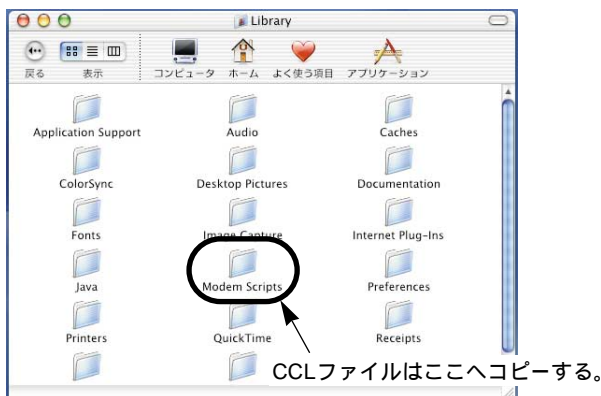
ハードディスクのアイコンをダブルクリックすると、次のようなダイアログ(画面)が開き、その中に、「Library」フォルダ、「Applications」フォルダがあることがわかります。



「Modem Scripts」フォルダってどこにあるの？

前ページを参照して、「Library」フォルダを見つけ、ダブルクリックします。するとその中に、「Modem Scripts」フォルダがあります。

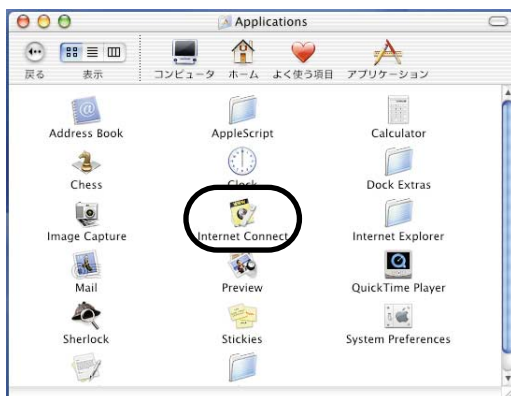
Macintoshでモデムなどの通信機器を使用するには、その機器用のCCLファイル（設定ファイル）を「Modem Scripts」フォルダの中にコピーする必要があります。



「Internet Connect」ってどこにあるの？

前ページを参照して、「Applications」フォルダを見つけ、ダブルクリックします。（または、ダイアログ（画面）の上の欄の「アプリケーション」をクリックします。）

「Applications」フォルダの中に、「Internet Connect」というアプリケーションソフトがあります。Mac OS X(10.0)、10.0.4でモデムなどの通信機器を使用してダイヤルアップ（電話をかけること）するには、「Internet Connect」を使用する必要があります。



仕様一覧

基本仕様

端末インターフェース	USB規格準拠
端末通信速度	115.2k/57600/38400/19200/9600/ 4800/2400/1200/600/300bps
電源	DC5V ±0.6V (パソコンより供給)
消費電力	最大約500mW (PCカード未装着時)
使用環境	温度：5～40 湿度：20～90%
寸法	157.5(D)×72(W)×36.5(H)
重量	約130g

